

1. 気温上昇の状況

世界の平均気温

- 陸域と海域を合わせた世界平均地上気温は複数のデータセットが存在する1880～2012年の間で0.85[0.65～1.06]※°Cの上昇を示している。
(※) 角括弧は90%の信頼区間の範囲を示す。
- “地球の表面では、最近30年の各10年間は、いずれも各々に先立つ1850年以降の全ての10年を上回って高温であった。”
(IPCC AR5 WG1 SPM p.SPM-3, 10行目)

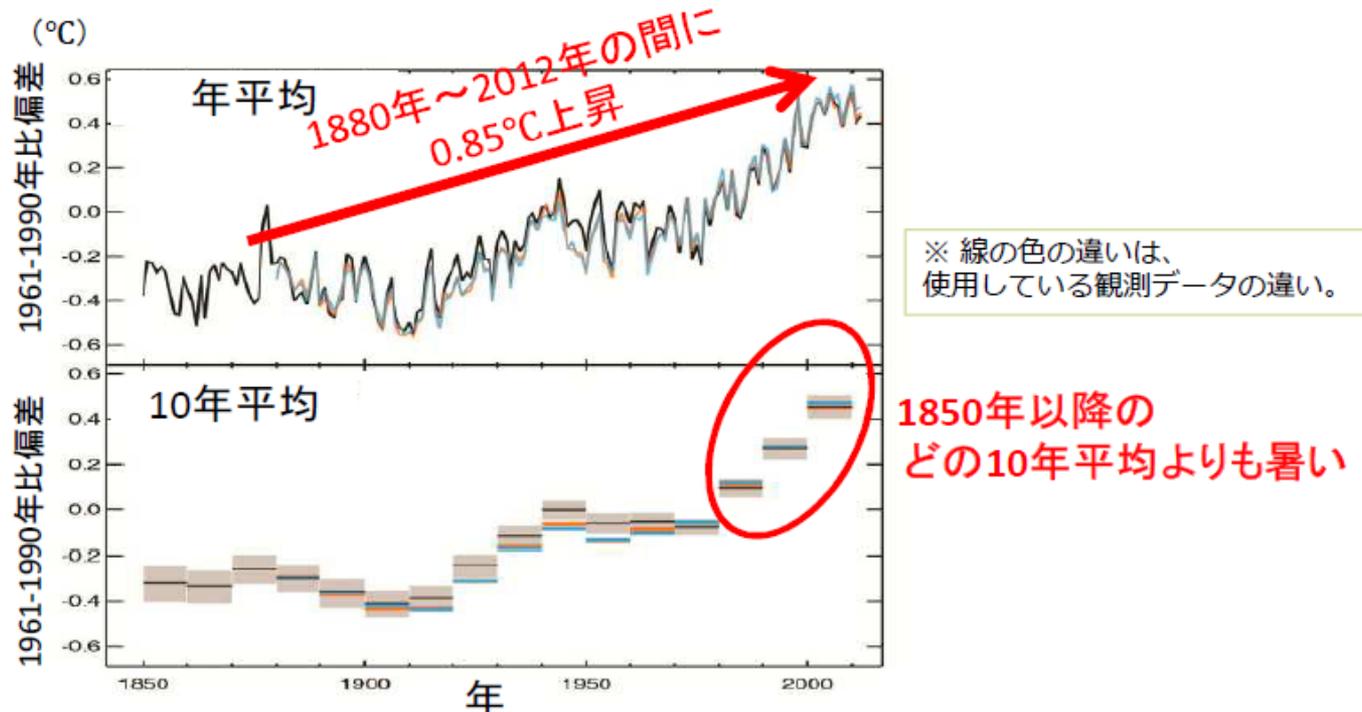


図. 観測された世界平均地上気温（陸域+海上）の偏差（1850～2012年）

出典：図. IPCC AR5 WG1 政策決定者向け要約 Fig SPM.1

8. 将来の気温の予測

将来の気温は現在よりも上昇する

- どのような仮定(シナリオ)を当てはめても、21世紀末(2081~2100年)の気温は、現在(1986~2005年)よりも上昇する。

表. 1986~2005年を基準とした21世紀末の世界平均地上気温の予測

シナリオ名称	温暖化対策	平均(°C)	「可能性が高い」予測幅 (°C)
RCP8.5	対策なし	+3.7	+2.6~+4.8
RCP6.0	少	+2.2	+1.4~+3.1
RCP4.5	中	+1.8	+1.1~+2.6
RCP2.6	最大	+1.0	+0.3~+1.7

出典: 表 IPCC AR5 WG1 政策決定者向け要約 Table SPM.2およびIPCC専門家
会合報告書『新シナリオに向けて』表1を参考に作成